



山野辺 裕二

長崎大学医学部・歯学部附属病院 医療情報部

【第2回】

裏録、W録™、タイムマシン

学会シーズンがやってきました。私は仕事柄、医療関係以外のセミナーや展示会にも出席することがあります。最近もIT業界の展示会とセミナーに参加してきました。

●ペーパービュー

そこでは企業展示、有料セミナー、無料の基調講演やセミナーなど、さまざまな催しが複数のトラックに分かれて並行開催されていました。3日間の会期でしたが、私は初日の午後だけ参加し有料セミナーをひとつだけ受講しました。受講料は4時間で14,800円。自腹を切るにはちょっと値が張ります。3日間の有料セミナーをすべて受講すると60,000円を超える場合もあります。しかし展示ホールと無料セミナーのみなら2,000円、事前登録なら完全に無料になります。

とはいえ、こちらの情報は取られるし、各社のキャンペーンガールに名刺を何枚も渡さねばなりません。無料といってもただではすまないカラクリになっているのは現代の常識……。

医療系でもモダンホスピタルショーはこのような仕組みになっており、展示会系のイベントの多くは、このように自分の聞きたい話だけにお金を払って参加するといったことが可能なようです。

●ベーシックバック

医学分野の学会に目を転じてみると、参加費は会期全体で一定額ということがほとんどで、同じように複数トラックでの開催です。大きな学会では10会場で同時進行なんてこともあります。

会場数が増えるにつれ、見たい発表が重なる可能性も高くなります。一番興味のある会場を選んで行けばよいのですが、運悪く別会場で座長を担当させられたり……。そんなとき、無性に腹が立つのです。「お金を払っているのにどうして希望する演題が見られないんだ」と。たとえば10トラックの学会の参加費は、実は「会期中に全体の1/10の発表を見る権利」を買っているにすぎないわけです。それも見たいものが見られるという保証はありません。不条理だと思いませんか？

●デジタル家電の衝撃

もうお気づきだと思いますが、右上の図を見てください。学会の日程表はテレビの番組表に似ています。見たいテレビ番組が重なったときはどうしていますか？ 裏番組を録画しますよね。

現在では表でDVDを見ながら裏でテレビ番組を録画できるとか[裏録]、2つのチャンネルをDVDとHDD（ハードディスク）に同時録画するなどといった製品が出ています[W録™]。極めつけは6チャンネルの放送内容を過去1週間ぶん丸ごと蓄えてお

昨年開催の医療マネジメント学会総会の日程表です。最大10会場での並行開催でした。今年は福岡でお会いしましょう。

いて、あとで好きなときに呼び出せるという[タイムマシン]機能を備えたパソコンまであります。

我が家にホームビデオがやってきたのは25年前です。近年一部の学会の内容がビデオオンデマンド配信されていますが、学会の運営スタイルは25年前と比べてどの程度進歩しているでしょうか。

●自宅に居ながらシアター体験

まず、学会のコンテンツはすべて録画して参加者に提供できるようにすべきです。10会場ある学会の参加費は1/10の権利を買っているわけですから、その10倍とは言わずとも2倍、3倍の価格なら全発表を収録したDVDを購入する会員がいると思います。座長や発表者には、裏番組を無料で提供するサービスもあってよいでしょう。

集会に不参加だった会員への販売も考えられます。私のように日本の西端に住んでいますと、東京の学会に参加するには最低でも50,000円の旅費がかかります。裏返して言うと、参加できなかった会員の中には参加費プラス50,000円でもビデオを買う人がいるということです。

ここからは発表者に許諾を得る必要がありますが、非会員への販売の可能性もあります。学会の年会費を考慮した値づけがふさわしいでしょう。その他にもセッションごとのばら売りとか、考え出せばきりがありません。価格体系の例をまとめてみました。

当日参加	10,000円
当日参加+全発表DVD	30,000円
不参加者向け全発表DVD	60,000円 (参加証つき)
非会員向け全発表DVD	90,000円

こうなると学会の位置づけも変わってくるのではと思います。発表は事前視聴にして討論と懇親会だけの集会とか。

以上、近々学会を主催予定の方がいらっしゃいましたら、ぜひご検討ください。「コンテンツの二次利用で収益を上げて、学会当日の参加費を下げたい」というのが私のホンネですけれど。

やまのべ・ゆうじ●1986年長崎大学卒業。形成外科の勤務医として九州、四国の病院に勤務後、99年に念願の医療情報部門へ転籍。03-04年米国マウントサイナイメディカルセンター医療情報学研究室。現在院内では医療情報部の副部長に加えて経営企画部副部長、安全管理部、臨床教育・研修センターを併任。他に広報・衛星通信・診療情報管理等も担当。最近の趣味は通信教育受講。